

## 介護職員初任者研修カリキュラム

事業者名 有限会社三上

研修事業の名称 介護職員初任者研修 みかみ

1 職務の理解 ( 6 時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①多様なサービスの理解	1 時間	《講義内容》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険による居宅サービスの種類と、サービスが提供される場の特性を理解する。</li> <li>・介護保険による施設サービスの種類と、サービスが提供される場の特性を理解する。</li> <li>・介護保険外サービスの種類と、サービスが提供される意義や目的を理解する。</li> </ul> 《演習内容》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近なサービスについてグループワークを行う</li> </ul>
②介護職の仕事内容や働く現場の理解	5 時間	《講義内容》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種サービスの内容や利用者像などを通じて、介護職の仕事内容や働く現場を理解する。</li> <li>・ケアマネジメントを通じて、介護サービス提供にいたるまでの流れを理解する。</li> <li>・チームアプローチの必要性と、具体的な連携方法を理解する。</li> <li>・事業所の見学を通じて理解を深める</li> </ul> 《演習内容》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例を用いてグループワークを行う</li> </ul>
合計	6 時間	
2 介護における尊厳の保持・自立支援 ( 9 時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①人権と尊厳を支える介護	6 時間	《講義内容》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護を必要とする人が有する権利とは何かを学ぶ</li> <li>・介護に関する基本的な視点 (ICF, QOL, ノーマライゼーション) について理解する</li> <li>・利用者の権利を擁護するための制度の種類や内容について理解する</li> </ul> 《演習内容》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・尊厳を支えるということはどういうことか等、グループワークを行う</li> </ul>

②自立に向けた介護	3時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護における自立とは何かを学ぶ</li> <li>・「その人らしさ」を尊重するために、介護職として配慮すべき点について理解する。</li> <li>・介護の予防の考え方について理解する</li> </ul> <p>《演習内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援についてグループワークを行う</li> </ul>
合計	9時間	
3 介護の基本（ 6時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①介護職の役割、専門性と多職種との連携	2時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護環境の特徴（施設と在宅との違い、地域包括ケアの方向性など）を学ぶ。</li> <li>・介護の専門性について学び、利用者を支援するさまざまな専門職について理解する</li> </ul> <p>《演習内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族による介護と専門職による介護の違いについてグループワークを行う</li> </ul>
②介護職の職業倫理	1時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職がもつべき職業理論を学ぶ</li> <li>・日本介護福祉会倫理綱領を参考に介護職にかかわる倫理綱領を理解する</li> </ul> <p>《演習内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職としての社会的責任についてグループワークを行う</li> </ul>
③介護における安全の確保とリスクマネジメント	1.5時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の生活を守る技術としてのリスクマネジメントの視点を学ぶ</li> <li>・利用者を取り巻く介護チームで安全な生活を守るしくみについて学ぶ</li> </ul> <p>《演習内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗い方法やガウンテクニックの方法を体験する</li> </ul>
④介護職の安全	1.5時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護の特徴をふまえて、介護職自身の健康管理の必要性について学ぶ</li> <li>・介護職に起こりやすいところとからだの病気や障害について学ぶ</li> <li>・介護職自身の健康管理の方法（病気や障害の予防と対策）について学ぶ</li> </ul> <p>《演習内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・腰痛予防体操の体験を行う</li> </ul>
合計		

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（ 9時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①介護保険制度	4時間	《講義内容》 ・介護保険制度が創設された背景を理解したうえで、制度の目的と動向について学ぶ ・介護保険制度の基本的なしくみを理解する ・介護保険制度にかかわる組織とその役割を理解するとともに、制度の財政について学ぶ 《演習内容》 ・福祉用具貸与が生活に与える影響についてグループワークを行う
②医療との連携とリハビリテーション	2時間	《講義内容》 ・介護職と医療行為の実情と経過について理解する ・リハビリテーションの理念と考え方について理解する 《演習内容》 ・在宅および施設における介護職と看護職の役割・連携について理解する
③障害福祉制度およびその他制度	3時間	《講義内容》 ・障害者福祉制度における障害の概念について、その歩みをふまえて学ぶ ・障害者福祉制度の基本的なしくみについて理解する 《演習内容》 ・ノーマライゼーションの実現に向けて必要なとりくみについてグループワークを行う。
合計		
5 介護におけるコミュニケーション技術（ 6時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①介護におけるコミュニケーション	4時間	《講義内容》 ・対人援助関係におけるコミュニケーションの意義と目的を理解する ・介護におけるコミュニケーションの役割と技法について理解する ・事例を通して、利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの実際を理解する 《演習内容》 ・言語的・非言語的コミュニケーションの体験を行う

②介護におけるチームのコミュニケーション	2時間	《講義内容》 ・介護における記録の意義と目的を理解し、書き方の留意点などについて学ぶ ・チームのコミュニケーションに必要な報告・連絡・相談の意義と目的を理解し、具体的な方法について学ぶ ・会議の意義と目的を理解し、具体的な進め方について学ぶ 《演習内容》 ・記録の記載方法を体験し、内容・方法について、討議・発表を行う
合計		

## 6 老化の理解（ 6時間）

項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①老化に伴うこころとからだの変化と日常	3時間	《講義内容》 ・老年期や高齢者の定義について理解する ・老化が影響を及ぼす心理や行動には個人差が大きいことについて理解する ・老化とともに社会的環境が心理や行動に与える影響について理解する ・多くの側面にわたる身体的老化現象と日常生活への影響について理解する 《演習内容》 ・感覚機能の低下によっておこる生活への影響とその対策についてグループワークを行う
②高齢者と健康	3時間	《講義内容》 ・高齢者の多くにみられる症状や訴えがどのような疾病から怒るかなど、その特徴について理解する ・高齢者に多い病気の原因や特徴、その病気をかかえる高齢者の生活上の留意点について理解する 《演習内容》 ・筋骨格系の疾患予防についての身近な取り組みについてグループワークを行う
合計		

## 7 認知症の理解（ 6時間）

項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①認知症を取り巻く状況	1時間	《講義内容》 ・「認知症を中心としたケア」から「その人を中心としたケア」に転換することの意義を理解する ・問題視するのではなく、人として接することを理解する ・出来ないことではなく、出来ることをみて支援することを理解する 《演習内容》 ・パーソン・センタードケアの記録方法の体験を行う

②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老化のしくみと脳の変化を学び、認知症の原因を理解する</li> <li>・認知症に類似した症状をもつ疾病について学ぶ</li> <li>・アルツハイマー型認知症、血管性認知症をはじめとした認知症のおもな原因疾患の病態、症状について学ぶ</li> </ul> <p>《演習内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活場面において BPSD 症状が現れる背景についてグループワークを行う</li> </ul>
③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	2時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の症状を知ることによって、どのようなケアが必要かを学ぶ</li> <li>・認知症の人の行動と環境との関係について理解する</li> <li>・病気の症状があっても、その人の尊厳を守る視点をもつことについて理解する</li> </ul> <p>《演習内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロールプレイにて具体的な関わり方への体験を行う</li> </ul>
④家族への支援	1時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族介護者の介護の大変さについて理解し、レスパイトの重要性を学ぶ</li> <li>・家族とは助けるだけの存在ではなく、ともに認知症の人を支えていくパートナーであることを学ぶ</li> </ul> <p>《演習内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族が認知症になったことを想定しグループワークを行う</li> </ul>
合計		

## 8 障害の理解（4. 5時間）

項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①障害の基礎的理解	1時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「障害とはどういうものなのか」という考え方を学ぶ</li> <li>・国際生活機能分類（ICF）</li> </ul> <p>にもとづきながら、「障害」の概念について理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者福祉の基本理念（ノーマライゼーション、インクルージョン）について理解する</li> </ul>
②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	2時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害の原因となるおもな疾患を理解する</li> <li>・障害にともなう心理影響、障害の受容を理解する</li> <li>・障害のある人の生活を理解し、介護錠の留意点について学ぶ</li> </ul> <p>《演習内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障害を設定したロールプレイを行う</li> </ul>
③家族の心理、かかわり支援の理解	1. 5時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族支援は、家族介護の肩代わり支援だけでないことを学ぶ</li> <li>・日本に求められるレスパイトサービスの課題を学ぶ</li> </ul>

合計			
9 こころとからだのしくみと生活支援技術（ 76時間）			
基本知識の学習	項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
	①介護の基本的な考え方	2時間	《講義内容》 ・「介護」が理論的にどのような変遷をたどってきたのかについて理解する ・「介護」が法的にどのような変遷をたどってきたのかについて理解する
	②介護に関するこころのしくみの基礎的理解	4時間	《講義内容》 ・学習と記憶に関する基礎的な知識を理解する ・感情と意欲に関する基礎的な知識を理解する ・自己概念と生きがい、老化や障害の受容に関する基礎的な知識を理解する
③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	6時間	《講義内容》 ・生命の維持・恒常のしくみを理解する ・骨や関節などからだの動きのメカニズムを理解する ・神経の種類と、その働きを理解する ・眼や耳、心臓をはじめとするからだの器官のはたらきを理解する 《演習内容》 ・バイタルチェックを行う	
生活支援技術の講義・演習	④生活と家事	6時間	《講義内容》 ・生活を継続していくための家事の重要性について学ぶ ・家事援助（調理、洗濯、掃除などの援助）は利用者にとってどのような意味があるのかを理解する ・家事援助とは何かについて具体的に理解する 《演習内容》 ・事例を通して利用者の生活課題を明確にし、自立した生活支援になるように対応を考える
	⑤快適な居住環境整備と介護	4時間	《講義内容》 ・安心して快適に生活するために必要な環境の整備とは何かについて学ぶ ・住まいにおける安心・快適な室内環境の確保の仕方について学ぶ ・高齢者や障害のある人が生活するなかで、住宅改修や福祉用具を利用する意味や視点を学ぶ 《演習内容》 ・身近なユニバーサルデザインについてグループ討議する

⑥整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	5時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整容の必要性と、整容に関連するところとからだのしくみを理解する</li> <li>・利用者本人の力を活用し、整容の介護を行うための技術を身につける</li> </ul> <p>《実技》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・着脱介護実技体験を行う</li> </ul>
⑦移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	10時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動・移乗の必要性と、移動・移乗に関連するところとからだのしくみを理解する</li> <li>・利用者本人の力を活用し、移動・移乗の介護を行うための技術を身につける</li> <li>・心身機能の低下が移動・移乗に及ぼす影響について理解する</li> </ul> <p>《実技》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動・移乗介護の実技体験を行う</li> </ul>
⑧食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の必要性と、食事に関連するところとからだのしくみを理解する</li> <li>・利用者本人の力を活用し、食事の介護を行うための技術を身につける</li> <li>・心身機能の低下が食事に及ぼす影響について理解する</li> </ul> <p>《実技》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事介助の実技体験を行う</li> </ul>
⑨入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	8時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴・清潔保持がもたらす心身への効果と、入浴に関連するところとからだのしくみを理解する。</li> <li>・利用者本人の力をいかし、楽しい入浴の介護を行うための技術を身につける</li> <li>・心身機能の低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響について理解する</li> </ul> <p>《実技》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全身清拭や部分浴の実技体験を行う</li> </ul>
⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄の必要性と、睡眠に関するところとからだのしくみを理解する</li> <li>・利用者本人の力を活用し、気持ちのよい排泄の介護を行うための技術を身につける</li> <li>・心身機能の低下が排泄に及ぼす影響について理解する</li> </ul> <p>《実技》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄介助方法の実技体験を行う</li> </ul>

	⑪睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・睡眠の必要性と、睡眠に関するこころとからだのしくみを理解する</li> <li>・心地よい睡眠を支援するための知識と技術を身につける</li> <li>・心身機能の低下が睡眠に及ぼす影響について理解する</li> </ul> <p>《実技》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベットメイキングや体位変換の実技体験を行う</li> </ul>
	⑫死にゆく人に関するこころとからだのしくみと終末期介護	3時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・終末期のとらえ方を学ぶ</li> <li>・終末期から死までの身体機能の変化について理解し、状況に合わせた対応を学ぶ</li> <li>・死に直面した時の人の心理状況について理解し、こころの変化の受け止め方を学ぶ</li> </ul> <p>《演習内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師の体験した事例をもとに、看取り介護の意義、目的、利用者や家族に対する介護従事者の基本的程度を理解する</li> </ul>
生活支援技術演習	⑬介護過程の基礎的理解	5時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護過程の目的と意義、展開について学習する</li> <li>・介護過程におけるチームアプローチの重要性について学習する</li> </ul> <p>《演習内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別計画作成書を作成する</li> </ul>
	⑭総合生活支援技術演習	5時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例を通じて利用者のこころとからだの力が発揮できない要因を分析する</li> <li>・事例を通じて利用者本人にちって適切な支援技術は何かを検討する</li> <li>・事例を通じて利用者の心身の状況に合わせた介護を提供する視点について理解する</li> </ul> <p>《実技》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例に基づき、実技演習を行う</li> </ul>
実習		時間	
合計		時間	



10 振り返り（4時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①振り返り	2.5 時間	《講義内容》 ・研修での学び、振り返り、今後継続して学ぶべきことなどを討議する ・事業所の見学を通じて研修の内容を振り返る 《演習内容》 ・今後継続して学ぶべきことなどを討議した内容を発表する。
②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	1.5 時間	《講義内容》 ・ターミナルケアの考え方や留意点について理解する 《演習内容》 自分のこれからの目標を発表する
合計		
全カリキュラム合計時間	132.5時間	

※規定時間数以上のカリキュラムを組んでもかまわない。

※本研修で独自に追加した科目には、科目名の前に「追加」と表示すること。